

科目名		臨床神経学			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年	必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

臨床医学として、神経系の機能的解剖学を基本に各種疾患と障害の診断、治療などの基礎的知識を身に付ける。

【授業全体の内容の概要】

神経系、脳血管障害、認知症、神経難病の解剖や筋について学ぶ。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

言語聴覚士として必要な臨床神経学的事項を理解し説明できること。

回数	講義内容
1	神経系の解剖と生理(1)中枢神経
2	” (2)末梢神経
3	” (3)神経学的主要徴候
4	脳血管障害 (1)脳梗塞、一過性脳虚血発作
5	(2)脳出血、クモ膜下出血
6	(3)頭外傷に伴う頭蓋内血腫
7	認知症 (1)アルツハイマー病
8	(2)脳血管性痴呆 その他二次性認知症
9	パーキンソン病
10	ハンチントン舞蹈病、およびその他の不随態運動をきたす不随意疾患へ
11	筋萎縮性側索硬化症
12	脊髄小脳変性症
13	多発性硬化症、およびその他の脱髄疾患へ
14	ギランバレー症候群、進行性筋ジストロフィー
15	重症筋無力症、およびその他の筋疾患へ

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
コメディカルのための専門基礎分野テキスト 神経内科学 2版		中外医学社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験、100点満点で評価する。